

令和3年度 事業計画書

() 内は前年度当初予算

【公益目的事業 1】 長寿科学研究等支援事業

長寿科学に携わる研究者に対して、その研究費などを支援する事業

- (1) 長寿科学研究者支援事業 [自主財源] 49,495 千円
(33,699千円)

長寿科学研究に携わる研究者を対象に、その研究活動を幅広く財政的な支援を実施することにより、研究者の育成と長寿科学の振興を図る。

支援計画 継続7件 新規1件

- (2) 長寿科学関連国際学会派遣事業 [自主財源] 128 千円
(3,650 千円)

令和3年度の事業を一旦休止し、今後の事業について検討を行う。

- (3) 若手研究者表彰事業 [自主財源] 218 千円
(3,000 千円)

令和3年度の事業を一旦休止し、今後の事業について検討を行う。

【公益目的事業 2】 情報提供事業

長寿科学研究の成果や健康長寿に関する情報を広く国民に提供する事業

- (1) 出版事業（業績集の発行） [自主財源] 88 千円
(7,917 千円)

令和3年度の事業を一旦休止し、今後の事業について検討を行う。

- (2) 出版事業（機関誌の発行） [自主財源] 16,033 千円
(21,656 千円)

本財団の機関誌「Aging & Health」をWEBにて発行し、健康長寿情報や長寿科学研究成果のより分かり易い広報を行う。

発行回数 4回（春、夏、秋、冬）

(3) 健康長寿ネット事業

〔自主財源〕 9,671 千円
(9,174 千円)

本財団のホームページ「健康長寿ネット」により、老化予防や健康づくり、疾病、介護予防など、健康長寿に関する情報をインターネットを通じて広く国民に提供する。また、新たなコンテンツの追加や財団の機関誌の情報などを提供することで財団の認知度を向上させる。

情報分野： 長寿・医療・介護、介護予防のための生活機能チェック

公開コンテンツ数：約1,500項目

年間アクセス件数：約20,000,000件

(4) 長寿たすけ愛講演会開催事業

〔自主財源〕 2,600 千円
(7,061 千円)

高齢社会の中で、明るく活力ある長寿社会の構築を参加者と共に考え、実践するきっかけづくりの場として講演会を開催する。

開催数 1回

開催場所 日本老年学会総会 市民公開講座
WEBにてオンデマンド開催

(5) 長寿科学研究普及事業

〔自主財源〕 4,650 千円
(4,650 千円)

国立長寿医療研究センターとの連携により、毎年テーマを定め、長寿科学研究に関するシンポジウムを開催し、研究成果などの普及啓発を図る。